

◎景気ウォッチャー調査[2023年10月]

2023年10月の中国地域調査結果の概況

■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を3.2ポイント下回る48.2となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや良くなっている」の回答の割合が減少し、「1人当たりの購買点数は減少傾向にある。原材料、輸送費等の高騰から商品単価が上昇していることが影響している。」(百貨店)、「納期に時間が掛かるため、販売できない車の数が多く、客の購買意欲が無くなっている。」(乗用車販売店)等の理由から、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を2.6ポイント下回る47.6となった。

企業動向関連は、「液晶関連は引き続きメーカーによる生産調整が続いており、工作機械や産業用機械関連も鈍化傾向にある。」(電気機械器具製造業)、「前月と比べ、来客数、成約件数共に、約10%の落ち込みとなっている。」(不動産業)等の理由から、「やや悪くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を2.1ポイント下回る50.8となった。

雇用関連は、「良くなっている」、「やや良くなっている」の回答の割合が減少したため、前月を9.2ポイント下回る47.1となった。

	10月	9月	前月差
合計	48.2	51.4	-3.2
家計動向関連	47.6	50.2	-2.6
企業動向関連	50.8	52.9	-2.1
雇用関連(参考値)	47.1	56.3	-9.2

■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を2.2ポイント下回る49.5となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや良くなる」の回答の割合が減少し、「客が様々な商品の値上げを実感している。今のところ、来客数が減少しても、商品の値上げにより売上を確保しているが、今後は売上も減少する可能性がある。」(スーパー)、「景気は季節商材の売上に左右されるが、今年は暖冬と予想されているため、売上が増加しないとみられる。」(家電量販店)等の理由から、「やや悪くなる」の回答の割合が増加したため、前月を2.6ポイント下回る48.7となった。

企業動向関連は、「やや良くなる」の回答の割合が減少し、「毎月、客からの案件表で状況をみているが、案件数が大幅に減少しており、今後も受注の減少は必至である。」(金属製品製造業)、「全体的に受注量が落ち着きを見せており、引き続き減収減益の見通しである。」(電気機械器具製造業)等の理由から、「やや悪くなる」の回答の割合が増加したため、前月を2.1ポイント下回る52.3となった。

雇用関連は、「やや悪くなる」の回答の割合が減少したため、前月を1.6ポイント上回る50.0となった。

	10月	9月	前月差
合計	49.5	51.7	-2.2
家計動向関連	48.7	51.3	-2.6
企業動向関連	52.3	54.4	-2.1
雇用関連(参考値)	50.0	48.4	1.6